

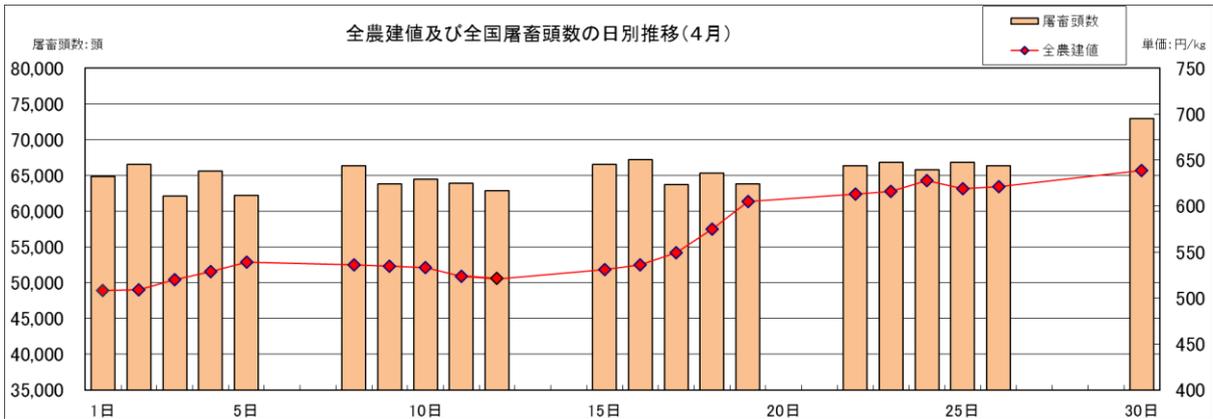
# 肉豚インフォメーション (4月)

## ●4月の動向

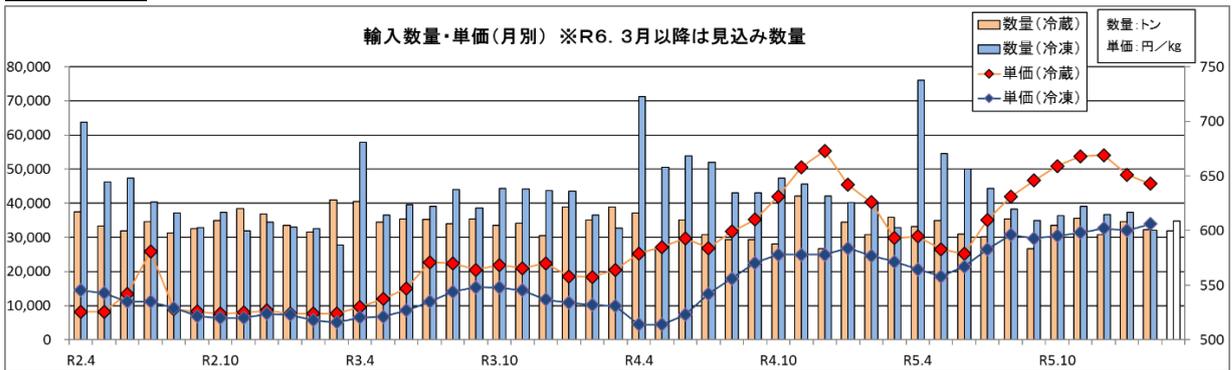
2024年4月(税抜)	2023年4月(税抜)
561円/kg (46円高)	515円/kg

※全農建値

4月は、上旬から中旬にかけて低調に推移したが、下旬にかけて大型連休の手当て買いもあり相場は上げ基調で推移する展開となった。

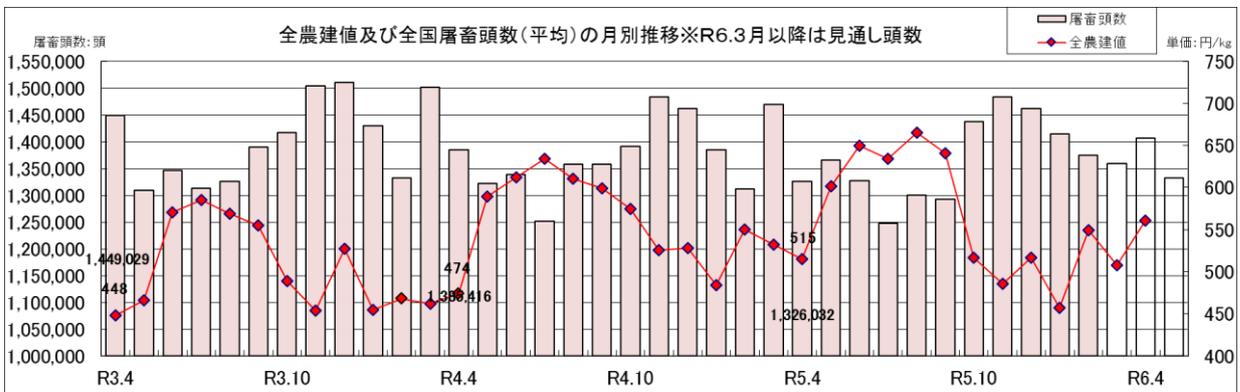


## ●輸入動向



## ●5月の動向

5月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



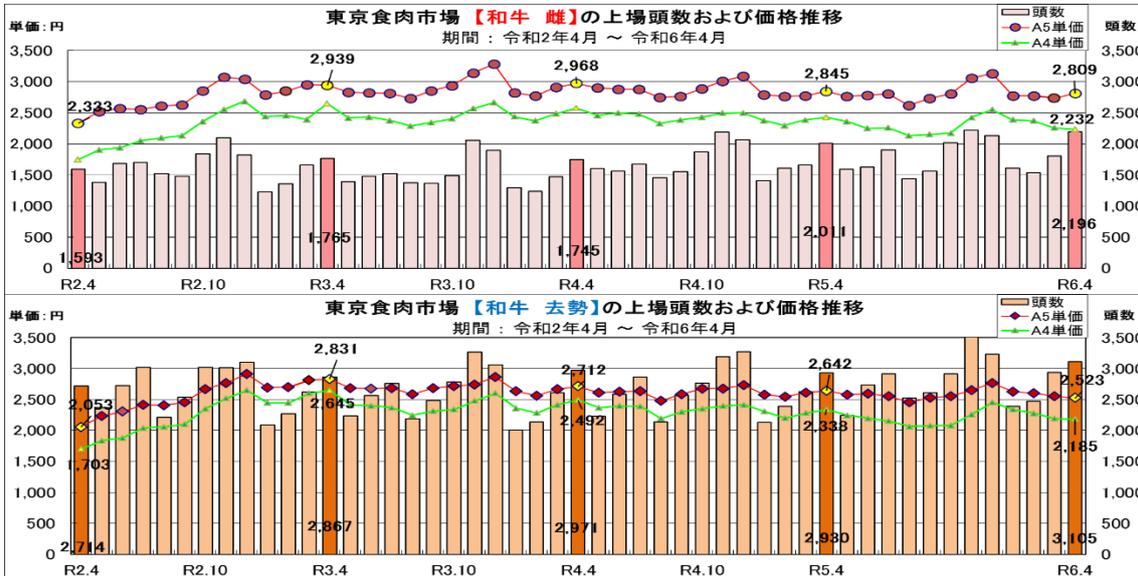
5月の相場については、連休明けは弱保合とはなるものの、底堅く推移すると予想される。

全農建値(税抜) 予測レンジは550円~600円とする。

# 肉牛インフォメーション（4月）

## ●4月の動向

前半は和牛・交雑ともにやや強もちあい推移した。GWに向けた引き合いの強さが期待されたがあまり伸びず、後半からは和牛相場の低調が見られた。交雑は和牛の代替え需要が継続し、下物を中心に引き合いが強まった。



## ●5月の動向予測

連休明けは補充目的で堅調な相場観が予想されるが、6月は連休等もないことから、次第に下がってくることが予想される。これまで引き合いの強かった交雑の相場も落ち着いてくる見込み。

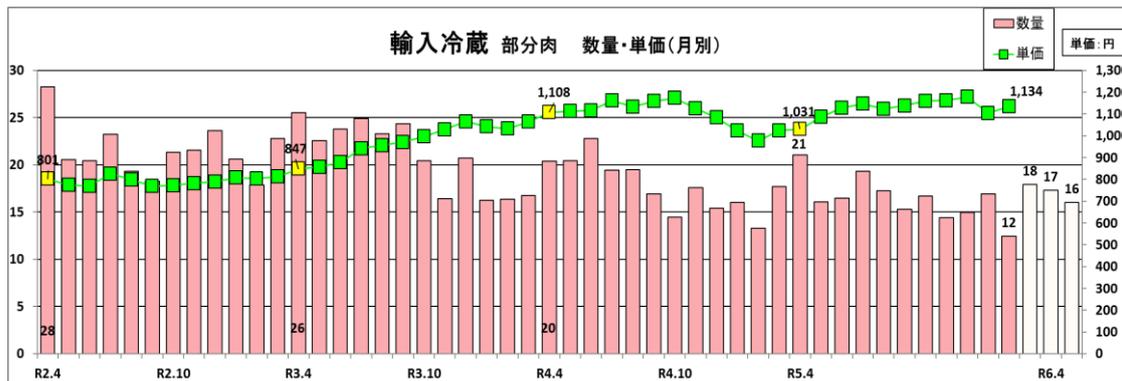
5月相場は「ジリ安」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,450円（税込み）      A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,500円（税込み）      B3等級 1,400円（税込み）

## ●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要は低迷下にある中、現地相場の高騰等による米国産輸入量の大幅な減少も見込まれること等から、4月は大幅に、5月はわずかに、いずれも前年同月を下回ると予想する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。  
(ALIC牛肉の需要予測について 4月25日)



# 食肉インフォメーション（4月）

## ●4月の動向

### ○牛肉

4月は気温が上昇し、夏日を観測する日もあり、スソ物やバラなど焼き材の需要がみられた。輸入牛のコスト上昇やホルスタインの数量不足から、需要は和牛や交雑牛にシフトしたがその中でも、単価が安い交雑牛の動きが好調となった。

### ○豚肉

GW大型連休を前にしても、引き続き消費者の節約志向は強く、焼き材やししゃぶしゃぶ用のロイン系など上位部位の動きは鈍い結果となった。また、輸入ポークは為替の影響等による仕入れ価格の高騰から、国産豚肉へ需要がシフトした。

## ●5月の動向予測

### ○牛肉

コロナ5類移行後初めてのGWを迎えるが、消費者の節約志向の影響で和牛の需要は伸びず、特にロースや肩ロースなどの上位部位のスライス系は動きが弱く、焼き材のバラやモモ中心の動きとなることが予想される。交雑牛についても、ロースなどの動きは厳しくなるが、和牛の代替としての需要は継続する見込み。

### ○豚肉

5月も大きく状況は変わらず、スソ物中心の動きが続くが、行楽需要によりスペアリブ等の動きは活発になる見込み。また量販店の連休特売は、円安などの状況から輸入物ではなく、国産物中心で売り場が構成されると予想される。

## ●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年3月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度3月	13,746	11,697	5,791	24,934	19,980	11,615	5,603	93,366
令和4年度3月	12,535	13,058	6,585	29,025	20,141	9,342	7,251	97,937
令和5年度3月	12,398	12,699	5,175	26,338	16,770	9,858	6,814	90,052
増減 (R4-R5)	-137	-359	-1,410	-2,687	-3,371	516	-437	-7,885
対比 (R3/R5)	90%	109%	89%	106%	84%	85%	122%	96%
対比 (R4/R5)	99%	97%	79%	91%	83%	106%	94%	92%